

第3次 上ノ国町

# 子ども読書活動推進計画



上ノ国町教育委員会

## 序 文

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条では、「子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです」と読書活動が子どもの成長過程において有意義なものであることが記されています。

子どもは本をとおして、様々な世界に触れ、知識を得るとともに、他者を思う心や種々の表現力を身につけていきます。幼少年期・青年初期における読書との関わりは、読書習慣の習熟や豊かな人間性と感性を育む一生涯の財産となり、生涯学習の礎となります。

しかし、昨今の社会情勢を鑑みますと、子どもを取り巻く読書環境、情報環境は大きく変化し、SNS や電子メディアが急速に普及し、スマートフォンをはじめとした様々な媒体が登場することで、子どもたちの読書環境が経験したことのない急激な変化の中にあり「読書離れ」「活字離れ」は否めない現実となっております。

本町では、平成 24 年から「上ノ国町子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭、保育所、学校、町民図書室などで、子どもたちが「読書」や「読み聞かせ」に親しみ、読書習慣の契機となるよう、様々な取り組みをしておりますが、この度、推進計画の見直しを行い、成果を継承しながら、子どもたちがより本に触れ、人生を豊かにすることができるよう「第3次上ノ国町子ども読書活動推進計画」として改訂し、読書環境の整備を進めて参ります。

「一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあります。」(ジョセフ・マーフィー、アイルランド出身の宗教書、著述家 1898 ~ 1981) 読書活動が、これからの世界を生きていく子どもたちを支える生きる力となり、地域の読書活動へと結びつくことも期待し一層の推進を図って参ります。

最後になりましたが、「第3次上ノ国町子ども読書活動推進計画」の策定にご尽力下さいました皆様に深く感謝申し上げます。

令和 4年 4月

上ノ国町教育委員会

教育長 矢代 智 樹

# 目 次

## 第1章 上ノ国町子ども読書活動推進計画の経緯

- 1 第1次、第2次上ノ国町子ども読書活動推進計画の策定について
- 2 第3次上ノ国町子ども読書活動推進計画の基本的考え方
- 3 計画の目標
- 4 計画の期間
- 5 計画の対象

## 第2章 子どもの読書活動推進活動のための取り組み

- 1 家 庭  
親子で楽しむ読書の環境づくり
- 2 学 校  
学校における読書活動の推進  
学校図書室の環境整備
- 3 保育所  
えほんの楽しさに触れ、読み聞かせの更なる充実
- 4 ボランティア団体（もこもこ）  
子ども、保護者へ読書の楽しさ親しみ機会の提供  
会員相互の研修
- 5 町の図書室  
読書活動の推進、環境整備の充実

## 第3章 資 料

- 1 アンケート結果
- 2 子どもの読書活動の推進に関する法律

## 第1章 上ノ国町子ども読書活動推進計画の経緯

### 1 第1次、2次上ノ国町子ども読書活動推進計画の策定について

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、上ノ国町内すべての子どもたちがあらゆる機会、あらゆる場所において読書活動ができるよう、環境や条件を整えることを目的に活動推進計画を策定しました。

#### 【計画の期間】

第1次					第2次				
24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3

第3次				
R4	R5	R6	R7	R8

### 2 第3次上ノ国町子ども読書活動推進計画の基本的考え方

#### (1) 計画策定の目的

今日、子どもたちを取り巻く社会環境は、インターネットやメディアの急速な発達・普及により情報化やグローバル化が進む一方で、スマートホンやゲームへの依存症などによる子どもたちの生活への悪影響が次第に大きくなってきています。

また、子どもたちが一日の大半を過ごす学校では、授業時数の確保、「学力」をあげるため様々な取り組み等が行われていますが、もう少し自己を見つめ、自分の時間を自分で決めて生活することも大切ではないでしょうか。

子どもを健やかに育てるためには、学校の教育活動はもとより、家庭・地域が一体となって、健全な環境づくりに務めることが大変重要になってきます。

上ノ国町では関わりあい、学びあい、育ちあう学びの共同体を根幹にすえ、「自分肯定の人生イメージ」を膨らませ希望を手繰り寄せようという取り組みが行われていますが、残念ながら、児童・生徒の読書への関心は薄れる傾向にあり、活字離れも進んでいる状況にあります。私たちは、多くの子どもたちが素晴らしい本と出会い、感性を磨き、表現力を高めることを願ってやみません。

第2次計画の最終年度となる令和3年度は、上ノ国町における子ども読書活動の成果と課題を明らかにし、読書活動が一層推進できるよう、「第3次上ノ国町子ども読書活動推進計画」を策定します。

### 3 計画の目標

#### (1) 読書活動の環境整備・充実

町民図書室及び学校図書室の施設設備の充実を図り、全ての子どもたちがあらゆる機会、あらゆる場所において読書活動ができるように、環境の整備を図ります。

#### (2) 読書を親しむための機会の提供

子どもたちが積極的に読書活動を行う意欲を高め、自ら進んで読書を行う習慣を身につけることができるよう、読書に親しむ機会の提供を図ります。

特に乳幼児のブックスタートの充実に努めます。

#### (3) 読書活動についての啓発活動と推進体制の整備

子どもたち自身が本の面白さを発見し、魅力ある本に出会うことができるように啓発活動を進めると共に、上ノ国町絵本読み聞かせサークル「もこもこ」との連携をより一層密にします。

#### (4) 人材の育成と関係者の資質の向上

子どもたちが本に出会うきっかけとなり、読書に親しむ手助けとなる人材の育成を図り、資質向上のために積極的に研修の場を持ちます。

### 4 計画の期間

令和4年度（2022年）から令和8年度（2026年）までの5年間とします。

### 5 計画の対象

この計画の対象は、0歳児からおおむね18歳とします。

## 第2章 子どもの読書活動推進のための取り組み

### 1 家庭

#### (1) 親子で楽しむ読書の環境づくり

##### 【成果】

6ヶ月相談の際のブックスタートを読み聞かせサークル「もこもこ」が中心となって事業を継続できたことは、今後に継がる大きな成果です。

##### 【現状と課題】

##### ①家庭の読書環境の現状

家庭の生活実態は、少子高齢化や保護者の共働きなどで、親の生活が日々多忙であり、親子での読書時間は減少傾向にあります。また、子どもたちはゲーム、タブレット、スマートフォンなどの映像文化の浸透、メディア情報の普及などで、読書に対する興味・関心が薄くなり、活字離れが進んでいる状況にあります。

##### ②本町における読み聞かせの状況

乳児のブックスタートは平成15年から始まり、年々保護者も関心を示し、乳幼児が絵本に食い入る姿は周りに感動を与えています。

平成27年度から、「もこもこ」が、図書室と保健福祉課と連携をとりながら、絵本を介してゆっくり触れあい、愛着形成の一助となるブックスタート、読み聞かせを継続してきました。

月末の水曜日に町民図書室で絵本の読み聞かせを行っており、参加者拡充への工夫が求められます。

##### 【施策の方向】

各家庭では、乳幼児に遊びを通して、絵本などに親しむことが大切であり、手の届くところに絵本などを置くように心がけるようにします。

読書を楽しむ、読書に親しむ環境づくりが重要で、日常から「読書の芽」を育てるように努めます。

また、毎月23日を上ノ国町読書の日と定めておりますが、今後、関係機関と連携し定着を図るよう努めます。

具体的な取り組み内容（1-1）

△準備      ○新規      ●継続

（実施主体）

家：家庭      学：学校      保：保育所      健：保健福祉課      図：図書室      教：教委  
 ボ：PTA もこもこ

取 り 組 み 内 容	実施主体	実 施 年 度				
		R4	R5	R6	R7	R8
1 ブックスタート事業の参加 ①乳幼児への読み聞かせ ②子育てサークルへの読み聞かせ	家、教、健、ボ	●	●	●	●	●
2 家庭での読み聞かせの促進	家	●	●	●	●	●
3 日常から読書習慣の形成 ①本を通しての語らい ②親自ら読書に親しむ姿勢 ③健康センターへ絵本の配本・充 実	家、教、図、健	●	●	●	●	●
4 子どもの生涯にわたる「読書の芽」 を育成 ①本を読む楽しさの共有	家	●	●	●	●	●
5 家族で図書室の利用	家、図	●	●	●	●	●
6 子ども読書事業への参加 ①図書室や各種サークルの事業 ②研修会等への参加	家、図、ボ	●	●	●	●	●
7 読書に関する情報の入手 各関係機関等で作成された保護者 向け資料の活用	家、学、図 保、健	●	●	●	●	●
8 各家庭内でノーゲーム日を制定 し、家族で読書に親しむ	家、学、教	●	●	●	●	●

## 2 学 校

### (1) 学校における読書活動の推進

### (2) 学校図書室の環境整備

#### 【成果】

各学校において、週当たりの実施回数に多少のばらつきはあるが、各校の実態に合わせて朝読書が実施されている。

教員、「もこもこ」による読み聞かせが行われ、児童が興味・関心を持ち、より一層本を身近に感じる機会となった。

上ノ国中学校での学習専門委員を活用した啓発活動は、生徒たちにとっても本への関心を持つ契機となり今後の読書活動につながるものとする。

#### 【現状と課題】

各校とも学校経営要項で読書活動についての記述はあるが、実態に即して読書活動推進計画を作成し、学校全体で推進する必要があります。同時に学校図書室の環境整備、図書委員会活動の活発化もあわせて行わなければなりません。

校内における読書活動の支援・協力態勢づくりを進め、読みやすい環境づくりを進めることが必要不可欠であります。

また、児童生徒に読書習慣を身につける観点からも、「もこもこ」の役割は極めて重要になってきます。

#### 【施策の方向】

読書習慣を身につけさせるため、「朝読書」・「読書タイム」の継続的な活動を一層強めていきます。

また、家庭における読み聞かせを継続的に実施することが、子どもの成長過程の中で重要な位置を占めると考えますので、各家庭に積極的に働きかけます。

図書文化に関わる教職員の育成に努めます。



具体的な取り組み内容（2-1）

△準備 ○新規 ●継続

取 り 組 み 内 容	実施主体	実 施 年 度				
		R4	R5	R6	R7	R8
1 各校で読書活動推進計画の作成	学	●	●	●	●	●
2 計画的な読書習慣づくり啓発 ①「朝読書」の実施、充実 ②読み聞かせの実施 ③ブックトークの実施	学、ポ	●	●	●	●	●
3 児童生徒への情報提示、普及啓発 ①図書室便りの発行 ②児童生徒へ優良図書の紹介 ③掲示板等の有効活用	教、学、図	●	●	●	●	●
4 「もこもこ」と協力、促進 ①読み聞かせ・ブックトーク ブックスタート	学、ポ、健、教	●	●	●	●	●
5 学校図書室の充実・改善 ①立ち寄りたくなるような図書室の整備 (新刊の充実、美化、環境づくり)	学、ポ、	●	●	●	●	●
6 障がいのある子どもたちに配慮した読書活動 ①図書の充実 ②環境整備	学、教	●	●	●	●	●
7 読書活動の普及啓発、意識の高揚 ①教職員研修による指導力の向上 ②イベント等への啓蒙活動 (読み聞かせ会、えほんの広場等)	学、教、ポ	●	●	●	●	●

### 3 保育所

(1) えほんの楽しさに触れ、読み聞かせの更なる充実

#### 【成果】

上ノ国保育所は、「遊び、うんどう、食」を重点に掲げ、日々保育にあたっています。また、時間を設定して園児らにえほんの楽しさを伝えています。さらに、子ども読書週間、秋の読書週間に合わせた各種イベントに参加してくれ、会を盛り上げてくれています。

#### 【現状と課題】

保育園児にえほんの楽しさを知ってもらい、読み聞かせの更なる充実を図ります。

また、保護者への働きかけ、保育所・保護者が一体となって、家庭の中でも読み聞かせを進めることが望まれます。

#### 【施策の方向】

あらゆる機会を活用して、読み聞かせを一層推進します。

教育委員会・図書室等の企画するイベントに参加します。

具体的な取り組み内容 (3-1)

取 り 組 み 内 容	実施主体	実 施 年 度				
		R4	R5	R6	R7	R8
1 あらゆる機会を活用し、読み聞かせの更なる充実	保	●	●	●	●	●
2 読み聞かせや読書指導方法など研修会への参加	保、教、図	●	●	●	●	●
3 図書の整備・充実 ①図書コーナーの整備・充実 ②新しいえほんの購入等	保	●	●	●	●	●
4 保護者へ読書活動の情報提供 ①保護者会を利用し、情報提供・読み聞かせの実施 ②親子でえほんを借りる取り組み	保	●	●	●	●	●
5 イベント等の参加 ①えほんの広場	保、ボ、図、教	●	●	●	●	●

△準備

○新規

●継続

#### 4 ボランティア団体（もこもこ）

(1) 子ども・親へえほんの楽しさや親しむ機会の提供

(2) 会員相互の研修の充実

##### 【成果】

各学校で読み聞かせ活動がすっかり定着し、子どもたちの反応も極めて良く、その日を心待ちにしています。年2回の読書週間に合わせたイベントも年々内容も豊かになってきており、子どもたちがえほん等へ触れあう良い機会となっています。それに伴い、えほんの読み聞かせの他 パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居等レパートリーも増え、意欲的に取り組んでいます。

総合福祉センターにおける読み聞かせ会、えほんの広場の定期的な実施の継続は、向後に継がる良い実践事例となっております。

また、学習会を定期的に行い、会員の質的向上にも努めています。

##### 【現状と課題】

現在6名で精力的に活動を行っています。会員が加重負担にならないような活動が求められます。

月末の水曜日、図書室で読み聞かせを行っています。参加する子どもたちも少なく、持ち方も含めて検討が必要です。

##### 【施策の方向】

ブックスタート、読書活動を支援する主体的推進者として活動にあたり、その活動を我々が支えていきます。

具体的な取り組み内容（4-1）

△準備      ○新規      ●継続

取 り 組 み 内 容	実施主体	実 施 年 度				
		R4	R5	R6	R7	R8
1 学校と協力し、読み聞かせの実施 ①小学校での読み聞かせ ②子育てサークルでの読み聞かせ	ボ、学、教、健	●	●	●	●	●
2 図書室と協働 ①ブックスタート事業の推進 ②図書室での読み聞かせ活動	図、ボ、健	●	●	●	●	●
3 活動場所の確保	教、図	●	●	●	●	●
4 講演会や研修会の実施 ①「子ども読書の日」「読書週間」 などの機会を活用し、イベントの 実施 ②檜山・渡島ボランティアネット ワーク研修会参加 ③会員相互の研修会の実施	教、ボ、図	●	●	●	●	●

## 5 町の図書室

### (1) 読書活動の推進、図書室の環境整備の充実

#### 【成果】

図書スペースの拡充等環境づくりに努めています。手狭な図書室ではありますが、新刊、旧刊の入れ替えを定期的に行い、ニーズに応えるように努めています。

ブックスタート実施に際しては、図書室としてバッグのプレゼントを継続しております。

#### 【現状と課題】

図書室が本町にあるため、利用できる児童生徒は限られています。そのため、河北小の巡回図書の充実が必要です。

蔵書数も若干増えていますが、今後中高生を対象としたライトノベル、ヤングアダルトの充実に努めていくことが必要となってきます。

#### 【施策の方向】

図書室は読書を楽しむことのできる場所であり、地域の読書活動事業の中核的な役割を果たすところです。今後、新規図書を計画的に購入し、一人でも多くの方々に利用されるよう努めていきます。

また、読書活動の環境づくりのため図書室、関係機関、ボランティア団体等と情報を共有し、事業の連携を図り読書活動推進の一翼を担います。

具体的な取り組み内容（5-1）

△準備      ○新規      ●継続

取 り 組 み 内 容	実施主体	実 施 年 度				
		R4	R5	R6	R7	R8
1 児童・生徒の受け入れ態勢 ①調べ学習や総合的な学習の場としての活用 ②読書の喜びに触れる機会の提供	図、学	●	●	●	●	●
2 ①障がいのある子どものための図書の整備 ②関係職員や学校との連携	学、図、教	●	●	●	●	●
3 読書の啓発活動の推進 ①「子ども読書の日」「読書週間」の活用 ②講演会・研修会等の開催 ③道立図書館との連携 ④図書だよりの発行 ⑤月末の読み聞かせの充実	図、教、ポ	●	●	●	●	●
4 巡回図書事業の推進・充実	図、教	●	●	●	●	●
5 保護者への「読み聞かせ」 もこもこ、保健福祉課との連携	図、ポ	●	●	●	●	●
6 サービスの充実 ①年齢層やニーズの沿った蔵書の充実 ②環境整備 ③リサイクル本の市の実施	図、教	●	●	●	●	●